

2025（令和7）年度埼玉県・オハイオ州スカラシップ
4月レポート「学期末」

令和7年度奨学生 田中碧

○ イースターブレイク

みなさま、こんにちは。4月はまずイースターを祝う連休からスタートしました。この



期間には、私は友人の家に泊めてもらいました。このお家はゴルフコースに面しているため、毎朝犬2匹のお散歩をゴルフカートでしていました。とても広々とした場所で、心をリフレッシュさせることができました。また、ダウントウンにも遊びに行ったり、行ったことのないレストランに行ったり、フードカートのフェアやお洋服の買い物もできゆったりとした時間を過ごせました。



○ スピーチコンテスト

とある日には、知り合いの方が Sanoh America という三桜工業株式会社のアメリカ拠点にお勤めなされていることをきっかけに、その社員の方達向けに開催されるスピーチコン



テストを訪問しました。日本企業ということで現地の社員の方たちも日本語を勉強する方が多く、また日本から駐在でいらしている方も仕事により培った英語力や国際交流の経験をスピーチしていらっしゃる、和やかな雰囲気に包まれていました。フィンドレーには日本企業との繋がりがいくつもあることは聞いていましたが、具体的にどのような様子なのか知ることができ貴重な体験でした。



○ Choir コンサート

4/12 は、以前から何度もレポートでお話しさせていただいている Choir(合唱)の最後のコンサートの日でした。このクラスではたくさんの思い出があったので、最後というのは非常に寂しい気持ちでしたが、友人も観に来てくれ、楽しい時間となりました。前はキャンパス内でのコンサートでしたが、今回はダウントウンにあるより大きな会場でオーケストラの方達とパフォーマンスということで、より迫力のあるコンサートになりました。

天気が良かったので帰り道散歩をしていると、たくさんたんぽぽが咲いており、季節の移り変わりを感じました。



◦ The Innovation Competition

これは、学内のビジネス専攻の生徒によるプレゼン大会の決勝です。自分たちでビジネスの案を作成し、マーケティング戦略を用いながら分析して発表するというもので、決勝に選ばれた人たちはとても堂々と発表しており感銘を受けました。順位によって賞金が授与されるなど、日本では中々ない学内イベントで面白かったです。



◦ Healthy kids day

4/17には、Healthy kids day と呼ばれる子供のためのイベントが開催されていました。日本人留学生と、日本語を学習する生徒たちは、綱引きや自分の名前を漢字にして書くというコーナーを設けました。綱引きはアメリカでもある程度馴染みのあるものなようで、多くの子供達が挑戦していました。負けてしまった子も次は勝つぞと再挑戦している姿がとても素敵でした。



この日は学期末の金曜日ということもあって、他にも多くのイベントが開催されていました。フットボールコートではアメリカンフットボールの部内試合が開催されており、観客が多く集まっていました。



◦ クッキー！！！！

同じ4/17にもう一つフィンドレー内で話題になっていたのが、Crumbl Cookie というクッキーチェーン店のオープンです。キャンパスから15分ほどのところに開店しました。このお店は大きく可愛らしい見た目のクッキーで有名なのですが、今までフィンドレーから1番近い店

舗は Toledo 店で、車で40分ほどかかる場所でした。そのため、待ちに待ったフィンドレー店のオープン初日は人がとても多く、時間がなかったので断念せざるをえませんでした。ですが翌日は無事クッキーをゲットできました。私が選んだのはチョコチップ、オレオ、ブラウニー味のセットでチョコレート好きにはぴったりでした。



◦ジェットコースターに挑戦！

その翌日には、Kings Island という遊園地に行きました。この遊園地は寒い時期には営業していないため、ちょうどこの日は開園初週末でした。そのため多くの人で溢れかえっていました。オハイオでは Cedar Point という北部にある遊園地が有名なのですが、この遊園地もそれに負けず人気な場所です。特に人気なのは数々の絶叫コースターたちです。私は、ジェットコースターは日本のディズニーでしか経験がないため、

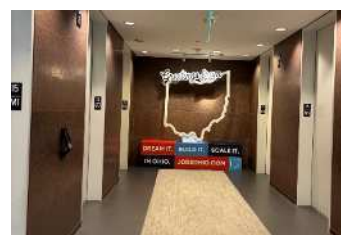


ジェットコースター好きの聖地とも呼ばれるような場所で果たして楽しめるのだろうかとドキドキしていました。なので初めは大きなジェットコースターには乗らないつもりでいたのですが、友達の後押しにより乗ったところ、一つ克服するともう一つ乗ってみようという気持ちになり、最終的に1番大きなジェットコースターも乗り、楽しむことができました。何事も挑戦してみなければわからないものだなあと感じまし

た。

◦表敬訪問

4/22 は、コロンバスへの表敬訪問の日でした。この日は30分ほどのプレゼンをする機会を計2回いただきました。1回目は Ohio Department of Education の Ryan Wertz さんと、Ohio Department of Higher Education の



Kevin Holtsberry さんにお時間をいただきました。プレゼンの中では埼玉県の紹介、フィンドレーでの経験報告に加え、埼玉県で話題のニュースなどについてもお話ししました。教育に携わっている方々ということで、日本とアメリカの授業の受け方の違いなどについて興味深そうにお話ししてくださりました。その後は

JobsOhio の Ben Park さんに向けてプレゼン、その後昼食をご一緒させていただきました。この方は韓国出身の方で、同じアジア圏からアメリカで働く方として、多くのアドバイスをいただきました。埼玉県の代表として大変貴重な機会をいただくことができました。



◦さよならパーティー

4/24 には、今期の日本人留学生と、今年卒業する日本語を学ぶ生徒のさよならパーティーがありました。それぞれが、自分の学ぶ言語（英語または日本語）でこの一年を振り返るスピーチを行いました。お世話になった先生方なども見に来てくださりうれしい気持ちになったと同時に、もうすぐフィンドレーでの生活も終わりなのだとということを実感しているいろいろな感情がこみ上げてきました。

○ Late Night Munchies

4/27には、テスト週間ということで夜にキャンパス内で食事を無料配布するイベントが行われていました。秋学期にも同じイベントがありましたが、私は少ししか参加できなかったの



で、今回初めてイベント全体を楽しむことができました。ビジネス学部の講義棟でチーズ

スティックやアイスなど様々な食べ物が配布され、またマジシャンによるパフォーマンスもありました。テスト勉強の息抜きをみんなで集まってできるというのは、学期末により集中力を高めるきっかけにもなりとても良いイベントだと思いました。



テスト期間に入ってから、友達との別れも少しずつ始まり寂しい気持ちと向き合う機会が増えてきました。フィンドレーという場所に出会えてよかったと心から思い続ける日々です。



本プログラムやフィンドレーでの生活に関して何か気になることがございましたら、tanakam1@findlay.eduまでお気軽にご連絡ください。少しでも皆様のお力になることができれば幸いです。